

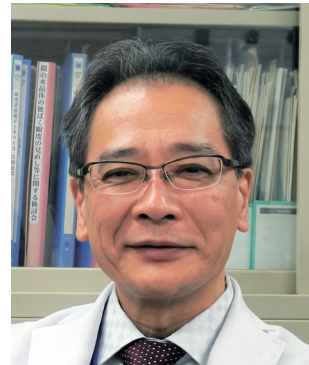
地域医療連携室 だより

Office of Community

- 院長挨拶
- 診療科紹介
 - ・ 泌尿器科
 - ・ 麻酔科
 - ・ 玉井進記念 四肢外傷センター
- 実績紹介
- 地域医療連携室からのお知らせ

massage

地域医療連携室だよりに寄せて



奈良県立医科大学附属病院

院長 吉川 公彦

この度、令和二年四月一日より奈良県立医科大学附属病院長を拝命しました吉川公彦です。

日頃は当院地域医療連携室を紹介した病病、病診連携にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当院は県内唯一の特定機能病院として高度先進医療を提供するとともに、地域医療の提供も重要な使命であり、多くの紹介患者さんを受け入れ、急性期治療後は紹介元の医療機関あるいは別の機能を有する病院や診療所への逆紹介を行い、医療機関の機能分化と、地域完結型医療の推進に努めています。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症に対して、令和二年四月一日、

大学対策本部の下に「病院部会」が立ち上がり、「情報と意識の共有」「協力体制の確立」をスローガンに十三のワーキンググループを中心に全職員が一丸となり、コロナ感染対策に取り組んで参りました。

四月六日、県よりコロナ重点医療機関として一五〇床確保の要請を受け、既存の感染症センター九床に加えて、ベースセンター、小児センター、精神医療センター、呼吸器内科病棟、消化器内科病棟、消化器外科病棟を順次陰圧化し、また重症患者さん受け入れのため、救急ICU、本館ICUにコロナ専用病床を設け、わずか一ヶ月間で目標の一五〇床を確保しました。

この間、コロナ感染対策として外来・入院診療の一部制限を余儀なくされ、四月七日より地域医療連携室を通じた緊急やがん症例を除く初診予約患者さんの受け入れを順次停止とさせて頂きました。皆様には大変ご不便をおかけし、申し訳ありませんでした。

その後、奈良県におきましては感染小床期に入ったことにより、コロナ病床を五七床に縮減するとともに、六月二十二日より地域医療連携室を通じた初診予約の受付を再開させて頂いたいただきました。皆様方からの患者さんのご紹介をお待ちしております。尚、当院では病院玄関での発熱等チェックやトリアージ外来の設置、院内感染対策の徹底に取り組んでおりますが、昨今、奈良県内のコロナ感染者数の増加がみられる中、再び制限をさせて頂いたことがありますので、ご了承ください。

今後も当院地域医療連携室では紹介患者さんの受診予約業務、かかりつけ医への逆紹介の推進や連携登録医制度の充実、医療連携各種委員会の運営に努めてまいりますので、ご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。



泌尿器科

平素は当科の診療活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当科の主要な診療領域は、泌尿器悪性腫瘍、排尿機能障害、腎不全・腎移植、小児泌尿器科疾患であり、泌尿器に関する多岐にわたる疾患に関しまして外科治療のみでなく、最新の薬学や医療工学の成果を駆使し、個々の患者さんに最適な治療法を提示し、患者さんと共に選択し、常に日常生活の質（QOL）を重視した診療を心掛けています。

当科では、泌尿器悪性腫瘍におけるロボット支援下手術（前立腺がん、膀胱がん、腎がん）、前立腺がんに対する放射線治療（強度変調放射線治療、低線量率密封小線源療法、高線量率密封小線源療法）、各種泌尿器科悪性腫瘍手術における腹腔鏡や内視鏡手術の導入など、根治性の高い低侵襲治療を推進しています。また各種進行癌については、外科治療に併せて化学療法、分子標的薬、ホルモン薬、免疫チェックポイント阻害薬や放射線療法による集学的治療を行っています。

排尿障害については、過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法や仙骨神経刺激療法、腹圧性尿失禁に対する尿失禁手術、骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術、

前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術といった各種手術と薬物治療を駆使し、QOLの向上を図っております。

腎不全・移植領域では、県内の関連施設と共に透析医療の管理と生体腎移植を推進し、腎移植症例は年間20件を超えております。

昨今少子化が問題となっておりませんが、わが国の未来を担う子供たちに関わりかかる健康上の問題を解消するため、小児泌尿器科を専門性の高い領域のひとつとして認識し、低侵襲な腹腔鏡手術や高度な尿路形成術など、小児泌尿器科領域の診療の充実を図っております。

泌尿器科疾患における診療内容は多岐にわたり、専門性が求められる領域であります。当科がその中心的役割を果たす責務を負っており、地域の医療機関の皆様からご相談、ご紹介を頂ければ幸いです。

これからの高齢化、超高齢化社会において、泌尿器科医に求められる役割はますます大きくなるものと考えられます。地域の中枢病院として機能を果たすために、地域の医療機関の皆様との連携と協力体制が不可欠と考えております。これからも、当科の診療活動にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



麻 酔 科

平素は当科の診療活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。麻酔科について紹介させていただきます。

手術麻酔では、二十四時間体制で予定・緊急手術の対応を行っております。予定手術では、外来で手術が決定した段階から、周術期管理センターを受診いただいております。麻酔科医、看護師、薬剤師の常駐に加え、歯科医・歯科衛生士による口腔機能管理も実施しております。術前・術後での地域の歯科診療所との連携も推進しております。最近では、術前から運動・栄養・禁煙・不安軽減などを目的としたプレハビリテーションプログラムを、リハビリテーション科、栄養管理室などと連携し、実施しております。また、産科と連携し、無痛分娩などの取り組みも開始しております。手術患者の周術期管理で困りの場合、ご相談いただければと思います。

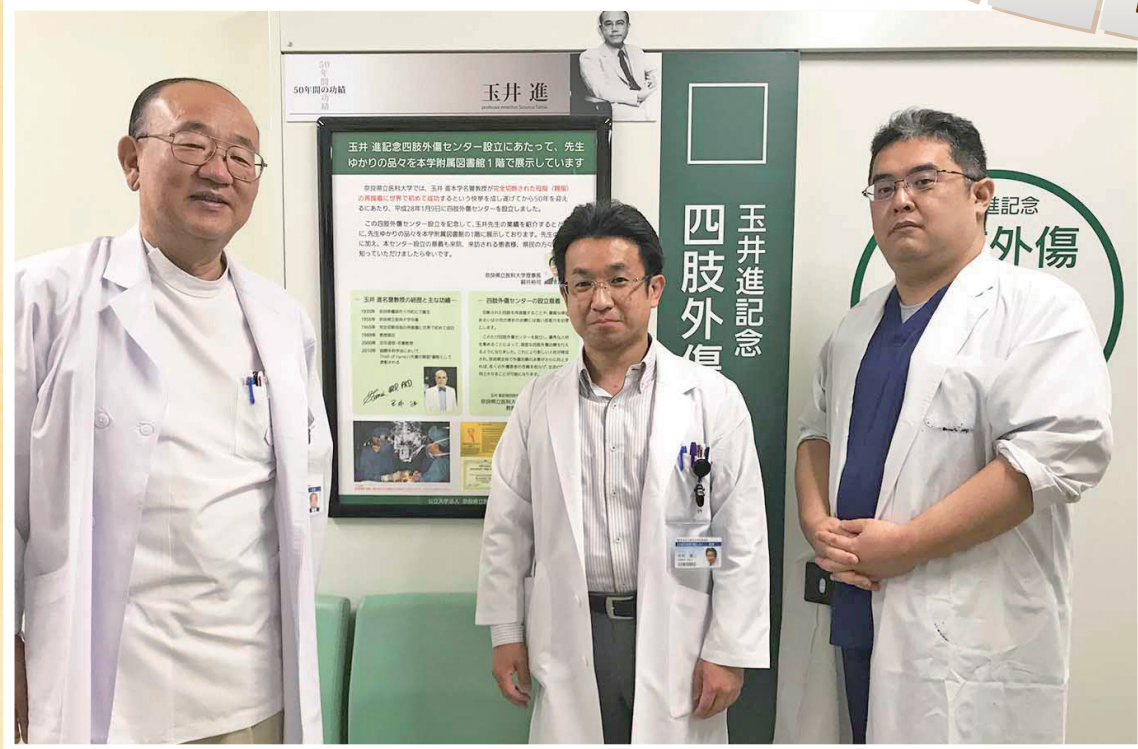
症患者受け入れ態勢を構築しています。患者や医療者のストレス軽減を目的に、五感と想感（知恵・思いやり）を刺激する Effective Medical Creation (EMC) プロジェクトとして、疑似窓や壁面装飾などの快適環境整備も実施しています。

手術麻酔では、二十四時間体制で予定・緊急手術の対応を行っております。予定手術では、外来で手術が決定した段階から、周術期管理センターを受診いただいております。麻酔科医、看護師、薬剤師の常駐に加え、歯科医・歯科衛生士による口腔機能管理も実施しております。術前・術後での地域の歯科診療所との連携も推進しております。最近では、術前から運動・栄養・禁煙・不安軽減などを目的としたプレハビリテーションプログラムを、リハビリテーション科、栄養管理室などと連携し、実施しております。また、産科と連携し、無痛分娩などの取り組みも開始しております。手術患者の周術期管理で困りの場合、ご相談いただければと思います。

ペインクリニックでは、様々な痛み、帯状疱疹後神経痛、脊椎疾患、関節痛などの運動器疾患、三叉神経痛、末梢神経障害、複合性局所疼痛症候群、顔面神経麻痺などを対象としています。レントゲン透視装置や超音波装置を駆使した神経ブロック治療が特徴で、薬物治療、理学療法、認知行動療法などとともに集学的治療をおこなっております。脊髄刺激療法などの低侵襲治療も盛んに行っております。痛みの治療でお困りの症例がありましたら、ご紹介いただければと思います。

集中治療部では、外科手術後や院内発症の重症患者を受け入れております。関連施設からの緊急での受け入れも積極的に行っております。新型コロナウイルス感染症に対しては、五床の重

これからも奈良県の中核病院として、地域の先生方と連携しながら、医療体制に貢献できればと思います。当科の診療活動にご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



玉井進記念 四肢外傷センター

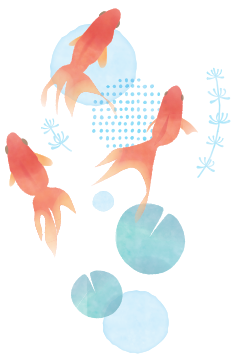
平素は玉井進記念 四肢外傷センターの診療活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

玉井進記念 四肢外傷センターは、整形外科名誉教授の玉井進先生が世界で初めてマイクロサージャリーによる切断指再接着術に成功された業績から五〇周年を記念して、二〇一六年一月に開設されました。マイクロサージャリーは手術顕微鏡下に〇.五〜三mm前後の血管吻合や組織の修復を行う技術で、玉井進先生が奈良の地で世界に先駆けて研究を開始し、普及および発展してきました。マイクロサージャリーの習得には長年の修練と臨床経験が必要であるため、整形外科のなかでは特殊技能であり、実践できる整形外科医が常駐している施設は全国的にも限られています。当センターでは、玉井進先生が発展させたマイクロサージャリーの技術と伝統を整形外科学の教室員が継承して、四肢外傷の診療にあたっています。

当センターには奈良県内外から、治療にマイクロサージャリーが必要な急性期の外傷だけでなく、多くの慢性期の疾患もご紹介いただいております。

ります。マイクロサージャリーを用いることで、切断された四肢の再接着術が可能になるだけでなく、損傷した末梢神経の修復術、麻痺した筋肉の回復術、外傷などで失われた四肢の部分欠損の再建術も可能になっています。また、骨折後の骨髄炎や難治性偽関節の治療にもマイクロサージャリーを応用することで良好な治療成績が得られています。救急の受け入れは随時対応しており、月曜日には四肢外傷センター外来を設けておりますので、治療で悩まれている四肢外傷症例があればご相談ください。

奈良県における中核病院、そして大学病院として、特に市中病院では治療が難しい四肢外傷症例に対して質の高い医療を提供し、患者様の機能回復、QOL向上に努めてまいります。引き続き当センターの診療活動にご協力いただきますよう、どうぞよろしく願いたします。



実績紹介

初診紹介患者予約実績

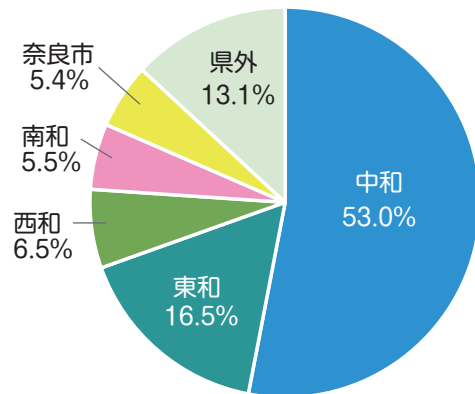
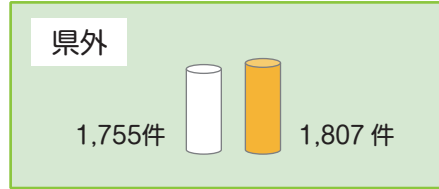
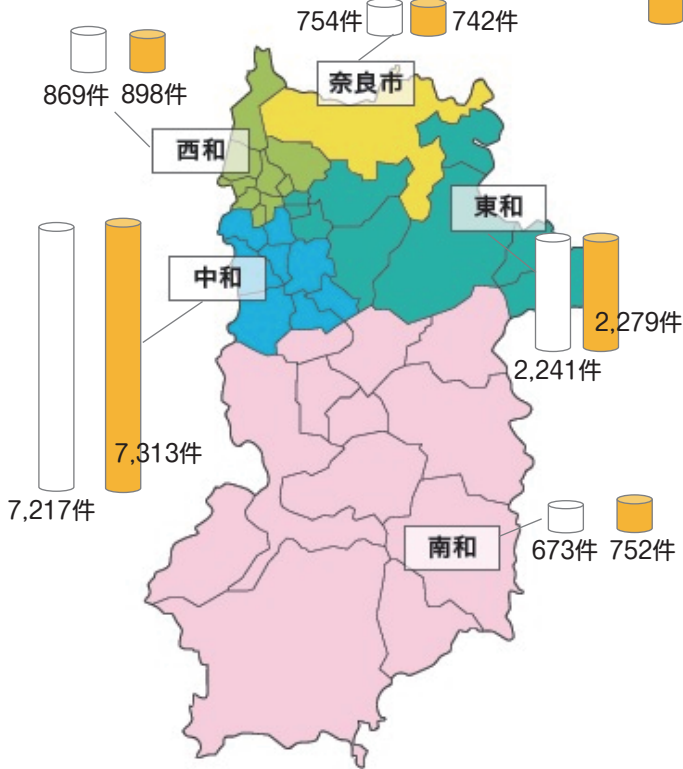
●初診紹介患者予約システム利用状況 計=13,791件



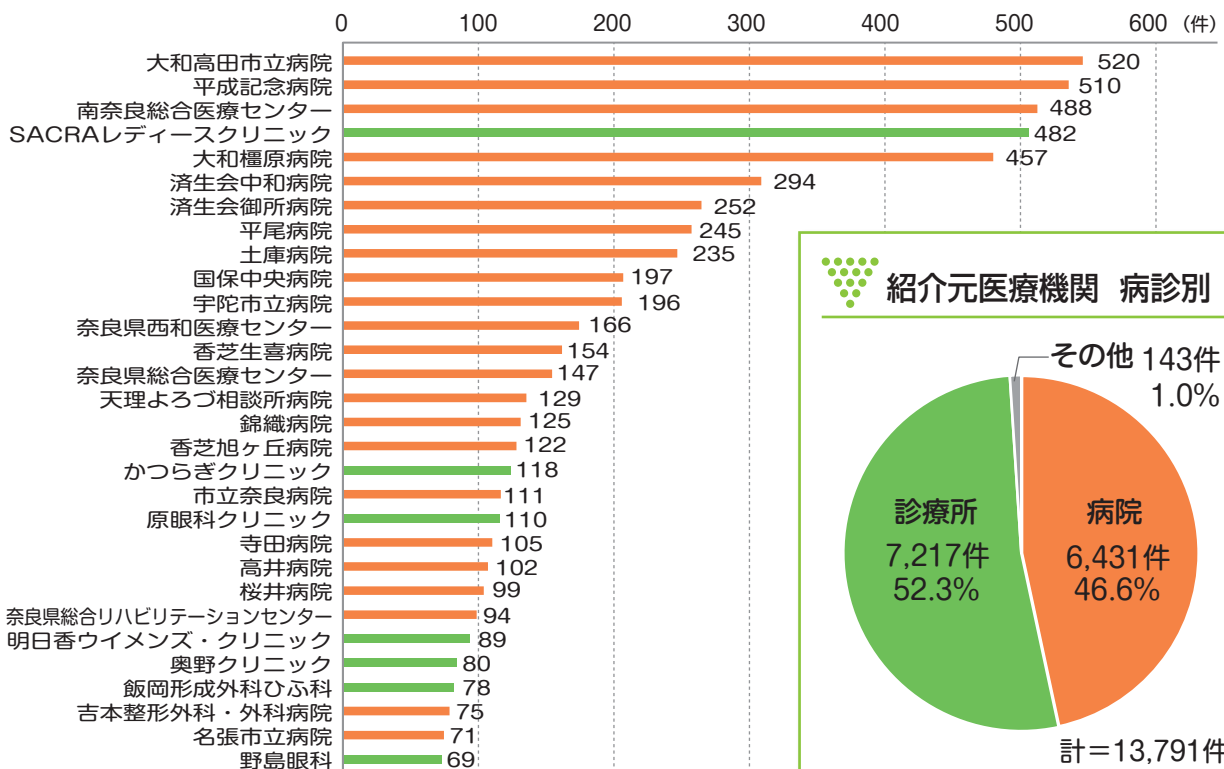
紹介元医療機関 医療圏別

○ H30年度 13,509件

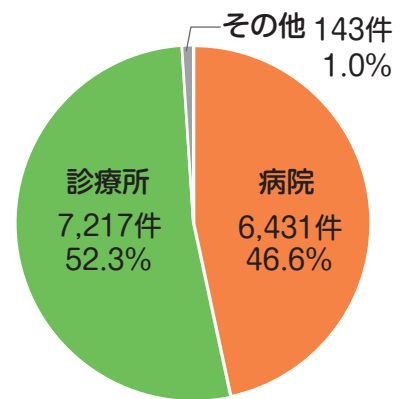
● R元年度 13,791件



紹介元医療機関 上位30医療機関



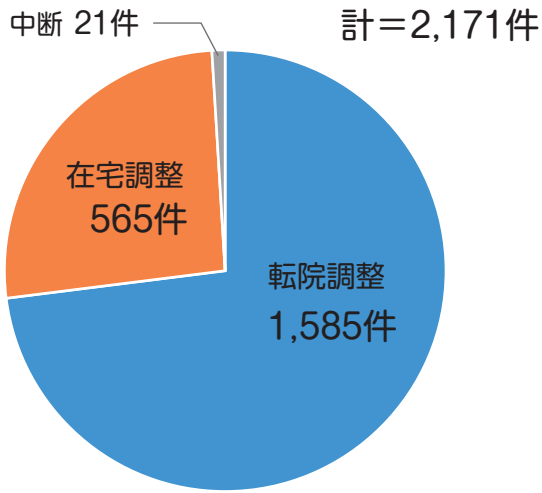
紹介元医療機関 病診別



計=13,791件

実績紹介

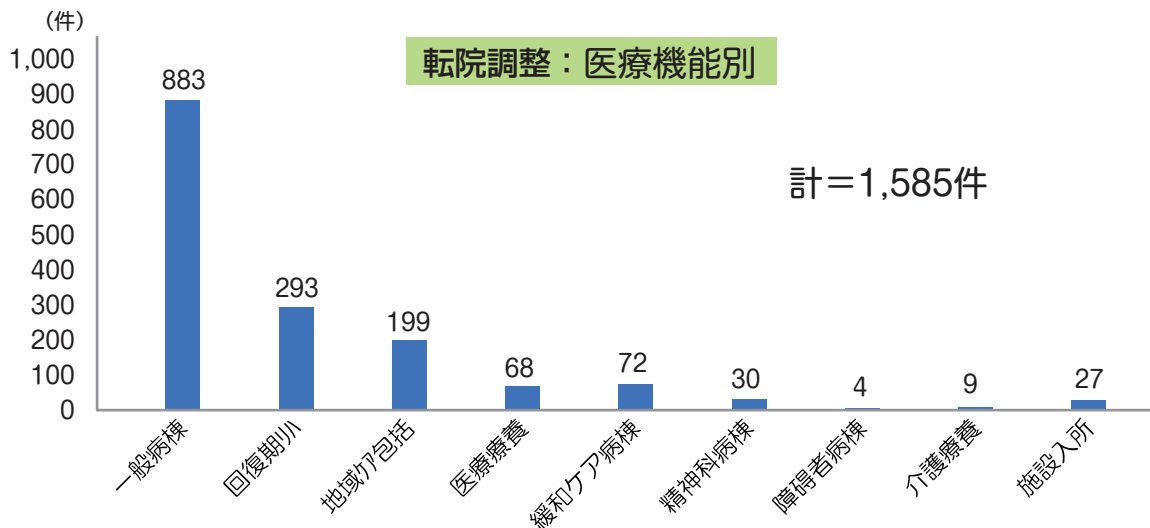
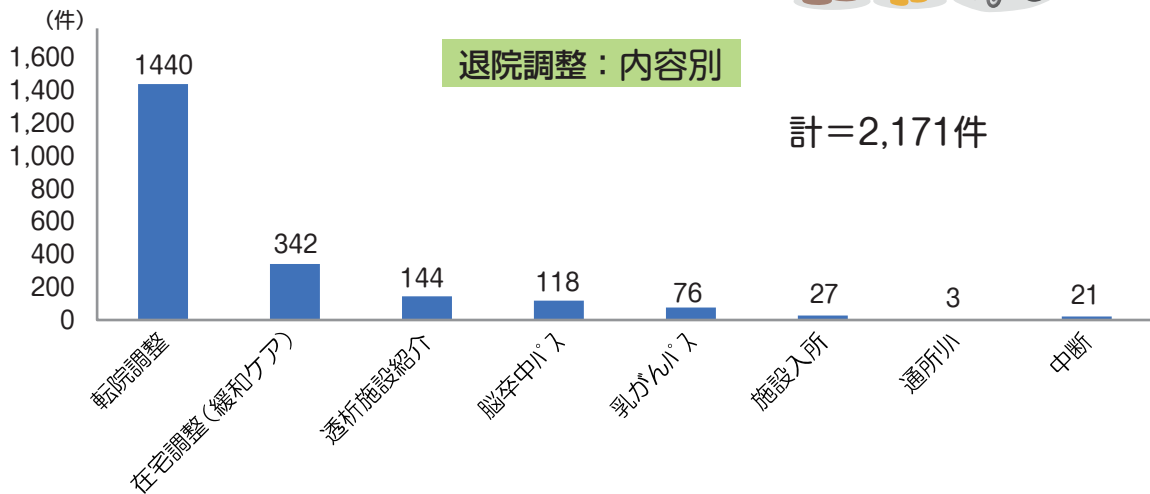
退院調整実績



- 在宅調整：在宅調整（緩和ケアを含む）
透析施設紹介
乳がんパス
通所リハ
- 転院調整：転院調整（日程調整）
奈良県脳卒中地域連携パス
施設入所



退院調整 内訳



NEWS

新型コロナウイルスに
対する感染症対策の
ご協力誠にありがとうございます

当院は新型コロナウイルス感染症の重点医療機関に位置づけられています。

特定機能病院として安全・安心な医療の提供はもとより、新型コロナウイルスに対する医療提供体制を維持する役割を担っております。

地域医療機関の皆様には、当院の状況をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。



発熱等
トリアージ外来が
できました



令和二年四月二十日(月)より当院の来院(通院)患者さんを対象に玄関出入口にてサーモグラフィーでの検温や発熱等の問診を行います。三七・五度以上の発熱が確認された場合や症状によっては、院内感染のリスクを減らすためトリアージ外来で診察させていただきます。発熱や風邪症状などがある場合は、スタッフにお申し出ください。

また、玄関出入口を「北玄関」と「南玄関」に限定し、開門時間を制限しています。待合環境の「密」を避けるためにも、ご紹介の際は患者さんに予約時間の十五分前を目安にお越しくださるようご案内ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



▲ サーモグラフィーでの検温の様子

【開門時間】

7時45分～17時00分



早すぎる来院や、遅れての来院は
ご遠慮ください

INFORMATION

当院は連携登録医制度を推進しています

● 連携登録医とは

患者さんの紹介・逆紹介などで当院と連携を図り協力体制をとっていただける地域の医師・歯科医師の先生方を「連携登録医」としています。

連携登録医制度は、地域の医療機関と奈良県立医科大学附属病院が相互に協力して、患者さんのニーズに応えた一貫性のある医療を提供するため、相互がより緊密な医療連携を図る体制を整備することを目的とします。

連携登録医の先生方は患者さんからの直接予約・地域医療連携室からの定期的なメールマガジンのお届け・連携登録医のつどいへの参加・紹介患者さんのカルテ閲覧・病室訪問・大学附属図書館の利用 などが可能です。



● 最新の情報提供に努めています

コロナ禍において、情報の共有は最重要です。

当院公式ホームページでの情報発信のほか、登録医の先生方には随時、診療に関する最新情報をメールマガジンやFAXでお知らせしてきました。

今後も、登録医の先生方に向けて常に最新の情報提供に努めてまいります。

● 登録方法

お申込は、

 <http://www.named-u.ac.jp/~chiiki/tourokui.html>

にアクセスいただき、連携登録医申請書をFAXまたは郵送でお届けください。

オンライン予約枠の拡充を行いました

当院では、初診紹介患者さんの目的に合った専門医による診察や受付手続き・待ち時間の短縮・診療支援のため、予約システムの利用を原則としております。

現在、予約には **FAX・オンライン・患者さんからの電話（※登録医限定）** の3つの方法をご用意しております。令和元年度におきましてはFAX予約を多数ご利用いただきましたが、コロナ禍において、実際にオンライン予約の新規申し込み依頼数が増えるなど、デジタル化の需要が高まっています。

これまで「オンラインで予約しようと思っても直近の空きがない」というお声がありましたが、この度オンライン予約可能な25の診療科で、予約枠を大幅に拡大いたしました。ユーザー登録がお済みの先生はどうぞご活用ください。

（※仮予約の場合でも、日時は確保されます。変更はその都度管理しておりますのでご安心ください。）

オンライン予約はこんなに便利なシステムです！

○夕診の時間帯や土曜日でも奈良医大の予約手続きがしたい

➡ オンライン環境があれば**24時間365日予約手続きが可能**です。（メンテナンス期間を除く）

○当院からの予約票が届くまで待ちきれない

➡ 予約完了後、お使いのプリンターからすぐに予約票を印刷できます。

○あらかじめ予約が取れる日時を確認したい

➡ お使いのブラウザで予約カレンダーを確認していただけます。

○予約時の書類 FAX の手間を省きたい

➡ 入力いただいた内容が診療情報提供書に反映されます。追加資料の添付も可能です。
※受診当日は、患者さんに診療情報提供書の原本を持参していただく必要があります



是非新規ユーザー登録をご検討ください！

登録方法は

 <http://www.named-u.ac.jp/~chiiki/yoyakuhouhou.html>

をご覧ください。地域医療連携室まで直接お問い合わせください。

もしくは、担当者が貴院に出向いてご説明いたします。

お申し込みをお待ちしています。

返書・報告書は届けられていますか？

当院は、地域の先生方から年間約 24,000 件のご紹介をいただいております。多数のご紹介をいただくなか、連携の推進は重要であると考え、システムの再構築や院内会議等において適切な運用の周知など、病院をあげて紹介医療機関・紹介医への報告の徹底に取り組んでおります。

紹介いただいた患者さんの診断や治療経過の報告を速やかに行い、当院での診療が終了しましたら、原則として紹介元医療機関へ戻っていただいております。

今後とも地域の医療機関の先生方におかれましては、地域医療連携室を通した患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

標榜診療科名が変更となります！

令和2年
9月1日から

新

「消化器・代謝内科」
「糖尿病・内分泌内科」

旧

「消化器・内分泌・代謝内科」
「糖尿病センター」

に標榜診療科名が変更となりました。
皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院玄関にて検温や体調チェックを行っております。

① 玄関



出入口を制限しています

② 検温



サーモグラフィーでの検温と
手指消毒をお願いしています

③ 受付



飛沫防止カーテンを設置しています

ご不便をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室 〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840
TEL:0744-22-3051 (代) / 0744-29-8022 (直通) FAX:0744-23-9923

編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室
URL <http://www.narmed-u.ac.jp/~chiiki/> 発行 / 2020年8月